

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

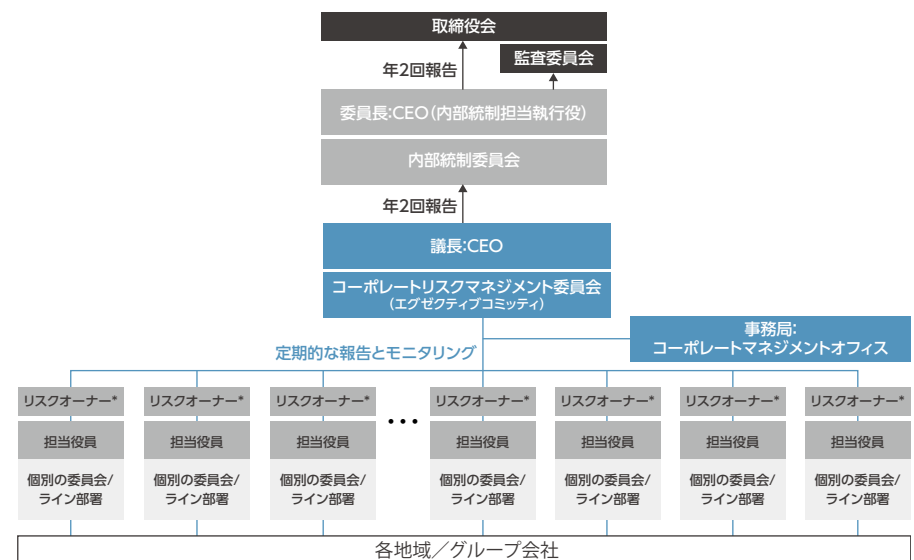
# リスクマネジメント

GRI102-29 GRI102-30 GRI102-33 GRI418-1

## リスクマネジメント体制

日産では、「グローバルリスク管理規程」にて、リスクを「日産グループのコーポレートパーパス、戦略、および事業目的の達成を阻害する事象又は状況」と定義し、日産グループ全体で活動を推進しています。リスクをいち早く察知し、影響度の大きさや発生の可能性を評価して、必要な対策を検討・実行することにより、リスクが発生する確率や頻度の低減、万一発生した場合の損失の最小化に務めるとともに、リスクの大きさに応じた適切な管理がなされているのかを確認しています。具体的には、社内外の事業環境の変化に対応するため、プロセスの見直しとともに、リスク管理の専門部署による役員層へのインタビューと各機能部署へのヒアリングを毎年実施。さまざまなリスクの洗い出しとともに、インパクトと切迫度、コントロールのレベルを定量的・定性的に評価し、コーポレートリスクマップの見直しを行います。そしてCEOが議長を務めるコーポレートリスク管理委員会において、全社的に管理すべきリスクとその管理責任者を決定し、責任者のリーダーシップのもと、各リスクへの対策に取り組みます。毎年度末にはリスク管理の責任者が各リスクにおけるコントロールレベルを評価し、それぞれのリスクマネジメント活動

の有効性を判断しています。それらの状況は定期的にコーポレートリスク管理委員会や内部統制委員会に報告し、さらに監査委員会や取締役会にも適宜報告しています。



\* リスクオーナーは、原則としてエグゼクティブコミティのメンバー

(2021年3月末時点)

個別のビジネスリスクに対しては、発生時の影響と発生の頻度を最小にするため、各部門の責任において、本来業務の一環として必要な予防対策を講じ

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

るとともに、発生時の緊急対応策を整備しています。国内外の連結会社とも連携を深め、日産グループ全体でリスクマネジメントの基本的なプロセスやツールの共通化、情報の共有化を進めています。

2020年度以降の日産グループの各地域の経営統括体制（マネジメントコミッティ）の改編に併せて、各地域統括部門と本社間のリスクマネジメントの実施・連携方法をあらためて見直し、再構築に取り組んでいます。

近年、新たな技術の普及や地政学的リスクの拡大など、企業を取り巻く環境は変化の度合いを増しています。そうした変化にも適切に対応していけるように、これからも取り組みを強化していきます。

## リスクマネジメント強化の取り組み

日産では、確実な復活を果たし、これからの激動の時代を生き抜いていくために、会社の基本的な方針を量の拡大から質の向上に転換し、収益性を伴った着実な成長を図ろうとしています。

過去の不祥事の反省を踏まえ、再発防止を確実なものにするために、ガバナンスや内部統制の強化にも取り組んできましたが、内部統制の重要な構成要素の一つであるリスクマネジメントについても、枠組みやプロセスの見直しとその強化に取り組んでいます。

体制面の強化としては「三つの防御線」の原則に基づき、リスクマネジメントの事務局を第二線の機能として明確に位置づけ、人員体制の強化も行いました。

会社の新たな基本方針をサポートするために、リスクマネジメントの目的を、事業目的の達成といった短期的なものにとどまらず、より長期的な視点で「コーポレートパーパス」の達成をサポートする活動と位置づけました。それに伴い、対象とするリスクも、会社の企業価値の向上や環境・人権など、サステナビリティに貢献する視点で、より幅広くとらえるようにしました。リスクの評価についても、従来の主観的・定性的な評価に、客観的・定量的な評価を加えるため、国際的なフレームワークも参照し、より具体的なリスクの評価と、リスクをコントロールし管理状態に置くための活動の把握に取り組んでいます。

これらの改善内容は、グローバルリスク管理規程にも反映し、改訂版として発行しました。

## 個人情報保護と情報セキュリティへの取り組み

日産では、情報セキュリティ全般に対する取り組みの基本方針である「情報セキュリティポリシー」をグローバルに展開し、情報セキュリティ委員会のもと、PDCAを回した対策を図っています。特に、グローバルで発生する社内外の情報漏えい事案については随時捕捉し、タイムリーに情報セキュリティの強化を実施することにより、確実に対応しています。同ポリシー徹底のため、情報セキュリティに関する社内教育を継続的に実施し、周知・定着を図っています。また、各国における個人情報の保護に関する法律を遵守し、お客さ

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

まの情報を適正に扱うことが社会的責務であると認識し、社内の管理体制およびルール、手続きを整備した個人情報管理規程を策定し、日産グループ会社全体において徹底しています。日産は、情報の透明性、プライバシー、誠実さが、これまで以上に、日産ブランドに対するお客さまの信頼を築き、維持するうえで不可欠な価値であると認識しています。当社は、お客さまに関するデータとプライバシー情報の利用において、グローバルで一貫したアプローチを適用するために、「カスタマープライバシーに関する基本方針」を策定しました。この方針は、日産の全拠点において情報の取り扱いが重要なテーマとして扱われ、一貫性をもっていることを保証しています。この新しい方針は、個人情報保護に関する日産のコミットメント、およびプライバシーに関する基本的な考え方について規定しています。

2020年度は日産グループ会社全体で個人情報に関して、重大な紛失、漏えいなどの事案は発生していません。

\* 有価証券報告書「事業等のリスク」に関する詳細はこちらをご覧ください

<https://www.nissan-global.com/JP/DOCUMENT/PDF/FR/2020/fr2020.pdf>